道建労協

Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会
〒104 東京都中央区京橋1－19－11
（日本鋪道労働組合内）
電話 03（3562）5857
発行人 宮 崎 敦 史
編集人 斉 藤 直 志

現場一斉休業の運動を展開

道建労協では、十一月の第二、第四土曜日に事業所及び現場を一斉休業とする運動を展開することになった。

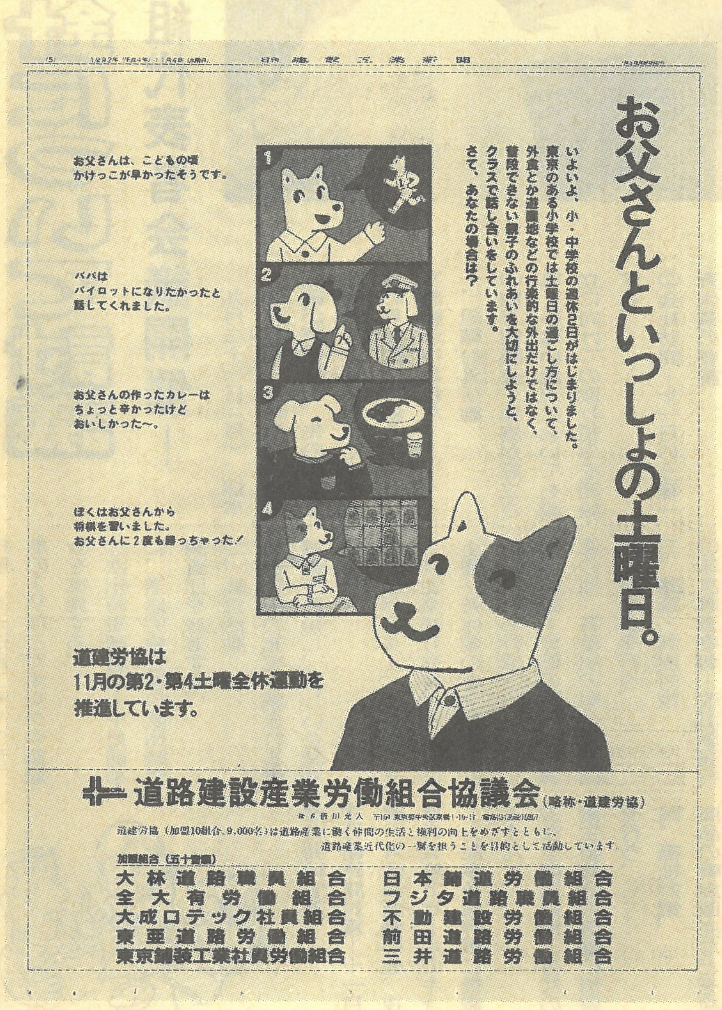
本年度の運動方針に「現業部門が実際に休めるような環境作り」を掲げているが、その取り組みの一環として、日建協の同様の運動に時期を合わせる形で行うものである。

具体的取り組み内容としては、別掲の「要請書」を、既に九月下旬に、加盟各社社長と、日本道路建設業協会、日本アスファルト合材協会宛に提出した。

これを踏まえ、十月後半に恒例の会社訪問を別項のスケジュールに基づいて実施、各社社長、労務担当役員の方々に、運動の趣旨を説明し、協力を重ねて要請した。

また、内外へのアピールとして、キャンペーンポスターを各事業所への配布し、十一月四日には、日刊建設工業新聞に意見広告（全面）を掲載した。

加盟各単組の組合員各位におかれては、是非この機会に各職場で「休み」について話し合われ、十一月の第二、第四土曜日は全員で休むことができるよう、取り組んで頂きたい。



(5)　1992年(平成4年)11月4日(水曜日)　日刊建設工業新聞

お父さんといっしょの土曜日。

いよいよ、小・中学校の週休2日がはじまりました。東京のある小学校では土曜日の過ごし方について、外食とか遊園地などの行楽的な外出だけではなく、普段できない親子のふれあいを大切にしようと、クラスで話し合いをしています。さて、あなたの場合は？

1 お父さんは、こどもの頃かけっこが早かったそうです。

2 パパはパイロットになりたかったと話してくれました。

3 お父さんの作ったカレーはちょっと辛かったけどおいしかった～。

4 ぼくはお父さんから将棋を習いました。お父さんに2度も勝っちゃった！

道建労協は11月の第2・第4土曜全休運動を推進しています。

道路建設産業労働組合協議会（略称・道建労協）

道建労協（加盟10組合、9,000名）は道路産業に働く仲間の生活と権利の向上をめざすとともに、道路産業近代化の一翼を担うことを目的として活動しています。

加盟組合（五十音順）

大林道路職員組合　　日本鋪道労働組合
全大有労働組合　　フジタ道路職員組合
大成ロテック社員組合　　不動建設労働組合
東亜道路労働組合　　前田道路労働組合
東京鋪装工業社員労働組合　　三井道路労働組合

日刊建設工業新聞に十一月四日掲載された意見広告

要 請 書

1992年9月25日

殿

道路建設産業労働組合協議会
議 長　吉 川 光 人

11月の第二、第四土曜日の事業所及び現場の一斉休業について

時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は当協議会の活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、日本全体が労働時間短縮に向け動いている中で、建設産業でもここ数年の間に多くの企業で完全週休２日制の導入がなされています。建設業に関係する多くの方々の努力により、労働時間の短縮が着実に進んでいることは事実であります。

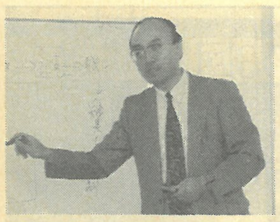
しかしながら、一方で制度は導入されたものの実際には土曜日に休めていないこともまた事実であります。私達のアンケート調査によれば３月の第二、第四土曜日を休んだ人の割合は35％にすぎず、これではせっかくの制度も絵にかいた餅にすぎません。また建設産業以外の方からみれば、建設産業は相変わらず長時間労働と映り、建設産業のイメージアップにつながらないことになります。今後はいかに土曜日を休むかが大きな課題です。そこで当協議会では11月に第二、第四土曜日の事業所及び現場の一斉休業の運動を展開します。建設産業の魅力化のため、貴社の格段のご協力をお願いいたします。

以　上

提出した要請書

読まれる紙面づくりって？

七単組が参加「新聞編集講座」



大渕講師

十月二十日（火）、新聞編集講座が東京都中央区の鉄鋼会館にて開催された。

日本鋪道労働組合と共同でのこの講座も、三回目となり、今回は七単組から十二名が参加した。

講師には、昨年に引き続き日本機関紙協会東京都本部の大渕俊之事務局長をお招きし、講義と実習が行われた。

講義では、「読まれる新聞にするために」「新聞作りの手順」などのお話があった。

その後の実習では、糊とハサミを使ってのレイアウトにチャレンジした。大小さまざまの見出しや、写真などの見本を切り貼りして、一ページ分の紙面を割り付けるというものであったが、大渕先生によれば、「今年の生徒は優秀で作業が早い」ということで、余った時間を利用して、「よい見出しの付け方」の実習が急遽行われた。

今回の講座を契機に、各単組での機関紙の発行が、回数、内容とも充実されることを期待したい。

新聞レイアウトにチャレンジ

本部スケジュール

9月30日(水)～10月12日(月)　欧州時短調査団
15日(木)　フジタ道路会社訪問
16日(金)　三井道路労働組合定期大会
19日(月)　大成ロテック会社訪問
　　　　　東京鋪装工業会社訪問
20日(火)　新聞編集講座
22日(木)　三井道路会社訪問
23日(金)　前田道路会社訪問
　　　　　関西地協定期総会
27日(火)　大林道路会社訪問
　　　　　三役会・中央執行委員会
28日(水)　フドウ道路会社訪問
29日(木)　北海道地協定期総会
30日(金)　日本鋪道会社訪問

●夜間工事問題の実態●

業界紙に連載

九月二十九日から十月九日にかけて、日刊建設工業新聞紙上に、夜間工事問題に関する記事が連載された。

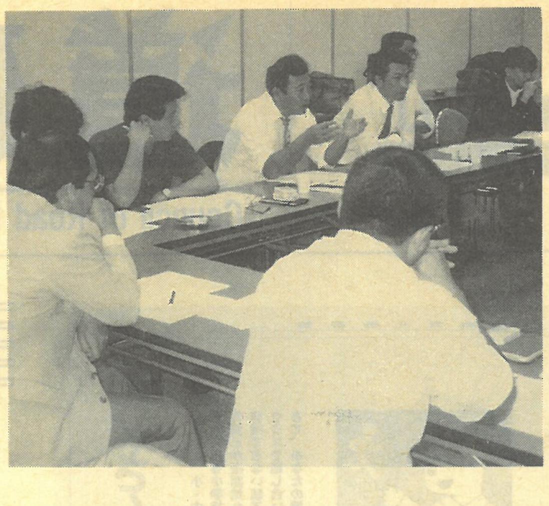
この記事は、「改善せまられる『夜間道路工事』事情」と題して、夜間工事にまつわる諸問題の実態やその背景などを、「危険」「近隣対策」「警察」「設計単価」「労働環境」の各項目に分けた形で、七回にわたって連載された。

内容は、発注者や警察などにも取材した中立な立場のものであるが、最も苦しんでいる施工業者からの訴えは、道建労協の名前を出して紹介されている。記事の中で現場担当者の生の声として紹介されているのは、本年四月に関東地協が東京都で開催した「夜間工事に関する意見交換会」の議事録からとられたものである。

連載開始当初から、本部や業界団体への問い合わせ等の反響があった。

この連載記事が、夜間工事の実態改善に向けて、関係各方面への一石となることを、切に希望したい。

連載された新聞記事



運動方針について討議

—単組代表者会議開催—

九月二十一日（月）、栃木で今年度第一回の単組代表者会議が開催され、先の第七回定期大会で承認された運動方針の具体的取り組み等について討議が行われた。

一、組織対外活動

①地方協議会—地協が設立されていない地方においても設立に向けての取り組みを開始する。

②会社訪問—十一月の土曜一斉休業の要請

③組織の拡大—未組織企業と接触、高速道路工事や空港工事のJVなどでオルグや懇談会を実施する。

④欧州時短調査団—十月前半に、道建労協主催の欧州時短調査団を派遣する。

二、教宣活動

①機関紙の充実—読まれる機関紙を目指し、新しい企画を検討。

②時短ポスター、安全ポスターは従来通り発行。十一月の土曜一斉休業のキャンペーンポスターも作成。

③研修会—恒例の新聞編集講座の他、各単組の組合役員向けの研修会を行う。

三、調査・制度対策

①年次調査事報—改訂版発行の年にあたるので、年末を目途に発行する。

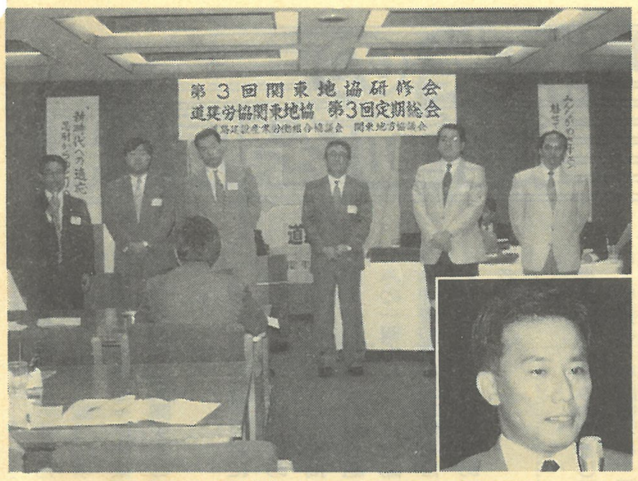
②労働時間対策—十一月の土曜一斉休業運動の他、夜間工事の実態アピールのキャンペーン記事を業界紙に掲載（九〜十月）。

③安全衛生対策—各社の安全衛生委員会の活動の情報交換を行う。

四、福祉対策

商品の斡旋販売などを検討する。

各地協で定期総会


第3回関東地協研修会
道建労協関東地協　第3回定期総会

新任役員の挨拶・写真右下は丸山新議長

関東地協

九月十二日（土）、関東地協の第三回定期総会が、東京都中央区の鉄鋼会館にて、来賓に本部宮崎事務局長、田辺副議長を迎え、役員、代議員あわせて五十五名出席のもと、盛大に開催された。

総会議長に前田道路労組の深谷靖治代議員を選出、本部宮崎事務局長の来賓祝辞の後、議事に入った。

経過報告、決算、運動方針案、予算案、役員案の五つの議案は、いずれも賛成多数で可決承認された。

前年度の主な活動は、本紙紙上に都度紹介してきた通り、各担当分科会を中心に、レクリエーション、県別意見交換会、機関紙発行など多彩な活動が活発に行われた。

新年度の運動方針としては、「前年度の活動を一層充実、レベルアップすること」を基調とし、年度スローガンには「一九九二年度は関東地協のさらなる充実の年である」を掲げている。

新年度役員は別掲の通りである。丸山新議長を始め、新しい顔ぶれも加わり、一層の飛躍が期待される。

尚、当日は総会終了後別室で懇親会を行い、単組間の交流を深めた。

関東地協　1992年度役員

役職名	氏　　名	単　　組　　名
議長	丸山　祐二	日本鋪道労働組合
副議長	細川　晶弘	大成ロテック社員組合
副議長	伊原　秀幸	東亜道路労働組合
副議長	松浦弦三郎	前田道路労働組合
事務局長	石川　孝幸	大林道路職員組合
幹事	吉田　信之	大林道路職員組合
幹事	豊田　浩之	全大有労働組合道路部会
幹事	中村　隆雅	大成ロテック社員組合
幹事	工川　靖	東亜道路労働組合
幹事	谷崎　智	東京鋪装工業社員労働組合
幹事	山崎　寿幸	日本鋪道労働組合
幹事	渡辺　利重	フジタ道路職員組合
幹事	吉田　欣吾	不動建設労働組合道路部会
幹事	森田　和明	前田道路労働組合
幹事	澄川　武	三井道路労働組合
会計監事	嶋﨑　明代	大林道路職員組合
会計監事	石原万記子	東亜道路労働組合

中部地協

九月十八日（金）、中部地協の第三回定期総会が大有建設の会議室で来賓に本部の吉川議長を迎え役員、代議員四十四名出席のもと盛大に開催された。

総会議長に日本鋪道労組の中山代議員を選出し、神戸議長の挨拶、本部吉川議長の祝辞の後議事に入った。

一般活動報告、会計報告、運動方針案、予算案、役員案の五つの議案はいずれも賛成多数で可決承認された。

前年度の主な活動はレクレーション活動として、クリスマスパーティー、ボーリング大会、潮干狩り等を行い、また労使セミナーも開催した。

新年度の運動方針としては「人がいきいきとする産業」「人を大切にする産業」をめざすことを基本とし、組織活動、レク活動、教宣活動を行うこととしている。

前田労組の藤田議長をはじめとした新メンバーの活躍が期待される。

尚、新年度の役員は別掲の通りである。

道建労協中部地協第3回定期総会
CRU
議長
書記

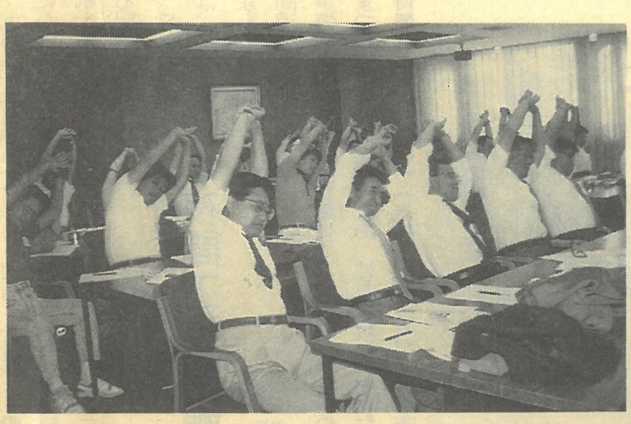
挨拶する神戸前議長

中部地協　1992年度役員

役職名	氏　　名	単　　組　　名
議長	藤田慎一郎	前田道路労働組合
副議長	片岡　憲民	大林道路職員組合
副議長	部坂　恭久	大成ロテック社員組合
副議長	稲本　尚人	日本鋪道労働組合
副議長	森川　勲	東亜道路労働組合
事務局長	菊地　滋之	全大有労働組合
幹事	梶田　三郎	大林道路職員組合
幹事	梶　秀隆	全大有労働組合
幹事	鈴木　紹規	大成ロテック社員組合
幹事	荒川　隆	東亜道路労働組合
幹事	伊藤　和明	東京鋪装工業労働組合
幹事	橋本　義満	日本鋪道労働組合
幹事	鈴木　一正	不動建設労働組合
幹事	田坂　裕樹	前田道路労働組合
幹事	奥　英之	三井道路労働組合
幹事	野田　温	フジタ道路職員組合
会計監事	森平　大志	大成ロテック社員組合
会計監事	布施　清司	東亜道路労働組合

上手にストレスコントロール

関東地協研修会で「健康づくり」講演



気持よく筋肉を伸ばして〜

小仲京子講師

九月十二日（土）、第三回関東地協研修会（セミナー）が、別項の定期総会に先立って開催された。

過去二回は労働問題関連の講演が続いたが、今回は方向を変えて「健康づくり」をテーマにとりあげ、㈱ディックルネサンスより、小仲京子、湯川貴美子両氏を講師にお招きし、「ストレスコントロールのすすめ」と題しての講演であった。

講演は、ストレスとは何かの話に始まり、ストレスをコントロールするための方法などが紹介された。一部引用すると、「カルシウムを摂ること（牛乳を飲む）」「ぬるめの風呂に長く入る」「自分にも他人にも一〇〇％を求めない」「疲れたら休む」「よく笑うこと」などであった。

話をきくだけでなく、途中にはワークシート作業や、音楽を流しながらのストレッチ体操（写真）、リラクセーションの実習もあり、予定の一時間半はあっという間に過ぎた。

参加者からは「もっと長くてもよかった」「単組でのセミナーにもきて頂きたい」などの声が多数聞かれ、大変好評であった。

関東地協では、新年度も、組合活動に限らない広い範囲で、更に興味の持てる内容のセミナーを開催する予定である。